

第66回岡山県総合バスケットボール選手権大会

女子決勝

日時	2020年8月30日(日) 10:00~	
会場名	笠岡総合体育館	(センター)コート

ELEVEN	61	$\left\{ \begin{array}{l} 8 - 10 \\ 18 - 21 \\ 18 - 12 \\ 17 - 14 \end{array} \right\}$	57	倉敷芸術科学大学
--------	----	---	----	----------

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
植村 円香	2	7		3	1	1	岩城 みゆ	5	0				
折居 来愛	3	0					永田 夢生	9	0				
菅野 千尋	5	16	2	3	4	2	渡邊 愛	11	0				
丹下 真帆	6	0					松尾 梨央	17	7		3	1	1
中村 千愛	7	0					池永 琉華	18	2		1		2
岡田 七海	8	0					三好 礼紋	20	0				
篠岡 瑠美	9	3	1				長谷川 涼	21	0				
中島 陽奈	11	0					登 翼沙	23	14		4	6	3
平井 日奈子	12	0					墓野 朱理	24	14	4	1		3
犬飼 ひろ美	13	17		7	3		松江 愛花	25	4		2		2
川端 みのり	14	0					河本 徳容	26	0				
登 優雅	15	0					平 朝香	27	5		2	1	3
久山 羽菜	17	2		1		1	金村 陽菜	30	0				
山成 茜	19	0				2	小林 海輝	31	11	1	4		
石原 夏帆	24	16	4	1	2	3	重藤 小百合	38	0				
森 麻夏	25	0				1	木原 藍	42	0				
合計		61	21	30	10	10	合計		57	15	34	8	14

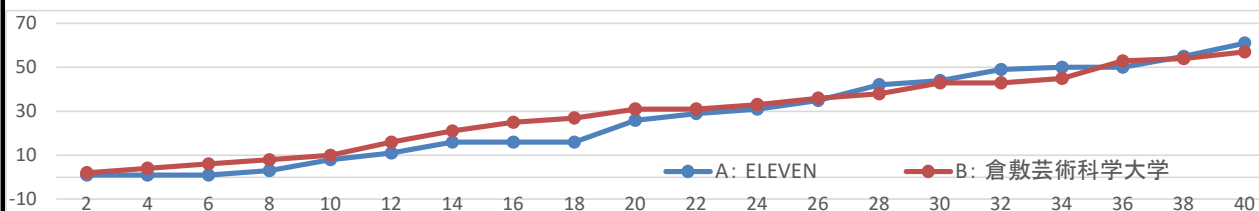
戦評

1Q両者ともマンツーマンでスタート。芸科大#23がフリースローを沈めて先制。ELEVENも#5がドライブからファウルを誘い、フリースロー1本沈める。芸科大は、#25がジャンプシュートを決め、ELEVEN1-4芸科大とする。その後、ELEVENは、いい形は作るものの、シュートがリングに嫌われ、芸科大もターンオーバーなどミスが続き、膠着状態が続く。残り5分5秒で、ELEVENはタイムアウトを取る。その後、芸科大は、#17や#23がジャンプシュートを決める。ELEVENも#5が速攻からのバスカン、#24もフリースローを2本沈め、同点に追いつくが、芸科大#27がジャンプシュートを決め、ELEVEN8-10芸科大で1Q終了。

2Q ELEVENの#5や#13がゴール下を頑張るものの、芸科大は#23や#24が立て続けにリバウンドシュートや3Pなどを決め突き放す。#23の速攻からのレイアップバスカンが決まったところでELEVENはタイムアウトを取る。その後、芸科大はELEVEN11-20芸科大と突き放す。ELEVENは#9や#13が立て続けにジャンプシュートを決めたところで今度は芸科大がタイムアウトを取る。その後、芸科大は#23がジャンプシュート、#27や#13も体勢を崩しながら得点を量産し、ELEVEN16-27芸科大の最大得点差となったが、ここからELEVENは#24がドライブを決め、#5もマークが甘くなったところを3P、ドライブ、プザービーター3Pを決めるなど追いつく。ELEVEN26-31芸科大で2Q終了。

3Q ELEVEN#24が先制の3Pを決め、#2や#13もジャンプシュートを決める。芸科大も#31や#25が速攻やジャンプシュートを決めるなど、一進一退の攻防となる。芸科大は#23がフリースローを2本決めたところでゾーンプレス仕掛けるが、ELEVENは落ち着いて運ぶ。その後、ELEVEN#13や#2が連続ジャンプシュートを決めて逆転に成功し、#24も3Pを決めて突き放そうとするが、芸科大は#24も3Pを入れ返し、#17もパスの体制が崩れたものの速攻を落ち着いて決める。ELEVEN#12がジャンプシュートを決め、ELEVEN44-43芸科大で3Q終了。

4Q ELEVENは#2のゴール下のプレーや#17がスローインのフォーメーションのシュートを決め、突き放そうとするが、芸科大は#18がシュートのこぼれ球を拾い、芸科大45-49ELEVENとなったところでELEVENタイムアウト。その後、芸科大は#24が3Pを立て続けに決め、#31も速攻を決め、芸科大53-50ELEVENとなったところでELEVENが再びタイムアウトを取る。ELEVENはその後、#24が3P、#13がパスカットから自分でボールを運び、ELEVEN55-54芸科大と再逆転し、その後も#24が3P、#13もチームファウルからのフリースローを1本沈め、ELEVEN59-54芸科大と突き放す。残り14秒でELEVENはタイムアウトを取る。芸科大は#31が終了間隙で3Pを決めるもののELEVEN61-57芸科大でELEVENが4年連続7回目の優勝を飾る。



第66回岡山県総合バスケットボール選手権大会

男子決勝

日 時	2020年8月30日(日) 12:30~		
会場名	笠岡総合体育館	(センター)コート	
トライフ°岡山サテライト	74	$\left\{ \begin{array}{l} 22 - 12 \\ 12 - 9 \\ 22 - 14 \\ 18 - 16 \end{array} \right\}$	ファイサンズ岡山

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
前村 雄大	3	8	2		2	1	佐藤 朋信	1	4		2		1
門脇 駿太郎	4	0				1	大橋 雄太	2	0				
頭山 竜之介	7	1			1	3	林野 由幸	3	0				
川満 寿史	9	0					星野 和希	4	5		1	3	2
酒井 達也	11	2		1		3	中西 祥一朗	6	4		2		5
城間 建伍	13	19	1	7	2	1	奥山 瑛介	7	0				
甲斐 慶彦	14	0					中垣 俊平	10	0				5
若狭 功希	15	7		2	3	2	木岡 裕太	12	2		1		1
小塚 翼	16	5	1	1		1	谷口 巨将	14	5	1	1		
下川 拓帆	17	0					石原 健一郎	18	2		1		5
樋口 真斗	21	3			3	1	生田 智久	19	0				
向井 祐介	22	11	3		2	2	三上 祐世	25	2			2	1
佐藤 誠人	23	3	1			3	岸本 祐也	35	8		3	2	2
ジョシュア・クロフォード	27	7		2	3		藤高 竜一	45	7		3	1	1
菊地 滉大	37	0					帆足 直也	77	0				
延原 慎	94	8		3	2	4	辻本 雅敏	91	12	1	3	3	3
合 計		74	24	32	18	22	合 計		51	6	34	11	26

戦 評

男子決勝は連覇を狙うトライフ°岡山サテライトと雪辱を果たしたいファイサンズ岡山との昨年度と同カードとなった。1Q 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。開始早々トライフ°は#16の3ポイントで先制する。トライフ°はピックアンドロールを中心にオフェンスを組み立て、#22の3ポイント、#27のインサイドのプレーで着実に得点し、主導権を奪う。一方ファイサンズは#14の3ポイント、#4がフリースローを決め得点をしていくが、リバウンドを支配され、なかなか得点ができず苦しい展開となり、残り3分でトライフ°22-7ファイサンズと得点差が広がっていく。トライフ°#27がベンチに下がった後、インサイドが互角となったところでファイサンズ#91、#12が得点を決めて差を縮め、トライフ°22-12ファイサンズで1Q終了。

2Q 開始直後トライフ°#15がフリースローを2本決め、リードを広げる。ファイサンズも粘り強く攻め、#45のリバウンドからの得点で残り7分9点差となったところでトライフ°のタイムアウト。その後、トライフ°はリズムを取り戻し、#3が連続3ポイントを決めて一気に差を広げるが、お互い厳しいディフェンスを攻め切れず、フリースローによる得点のみの時間帯が続き、トライフ°34-21ファイサンズで前半を折り返す。

3Q ファイサンズ#14のミドルシュートで後半が始まるが、流れはトライフ°のままである。トライフ°は#94のバスケットカウントや#22の2本の3ポイントで一気に得点差を広げ、残り5分でトライフ°46-27ファイサンズと圧倒する。その後もトライフ°は速攻を主体に攻めていくが、ファイサンズも粘りを見せて#35らが得点し、追い上げようとするが、トライフ°も#21が落ち着いてフリースローを決め、互角の展開となりトライフ°56-35ファイサンズで3Q終了。

4Q トライフ°#13の連続得点で始まったが、ファイサンズは#1、#35らが得点し、互角の立ち上がりとなる。トライフ°はメンバーを交代しながらゲームを進めていくが、ファイサンズはファウルがかさみ再び苦しい展開となる。しかし、ファイサンズ#91が3ポイントなどで得点し、最後まで粘り強くプレーする。終了間際、トライフ°は#13の3ポイントを含めた連続得点で突き放し、トライフ°74-51ファイサンズでトライフ°岡山サテライトが勝利し、2年連続の優勝を飾った。

